

# 「できない」を『できる』に変える

石川県を動かした4年 県民とともに進めた主な成果(実績 抜粋)

|                    |   |
|--------------------|---|
| 能登半島地震からの生活再建支援を強化 | 最大1,000万円超/世帯の支援<br>約1,000億円の復旧・復興財源を確保 |
| 中小企業と雇用を守る成長支援     | 700億円ファンドで280件支援、伴走型支援を強化               |
| 交流基盤の強化            | 国道8号・415号・加賀海浜産業道路・のと里山海道など広域道路を加速整備    |
| 介護・福祉サービスの底上げ      | 人材確保と賃上げ支援<br>社会福祉会館移転整備                |
| 防災・減災への投資を拡充       | 住宅耐震支援は全国トップ、新防災ヘリ導入、防災庁分局を国に要望         |



## 石川県知事 現職

### ■プロフィール

昭和36年5月5日生まれ(64歳) 金沢育ち。星稜高校、専修大学卒業。星稜高校で国語科教諭を務め、ロサンゼルス五輪(アマレス90kg級)日本代表として出場。国会議員として約27年在職し、文部科学大臣、自民党広報本部長を歴任。37本の議員立法を成立。2022年に石川県知事初当選。能登半島地震では、国と連携し約1,000億円規模の復旧・復興財源確保と被災者支援に尽力。

# はせせ 浩 ひろし

# 復興と挑戦!

## 重点政策

### 足元の物価高から県民の暮らしを守る

- 水道料金の基本料金の無償化(R8年2月～5月分)
- 県立高校など教育用タブレット購入、保護者負担ゼロへ。県が全額負担

これまでの実績  
これからの政策  
漫画の続きは▶



すべて  
公式サイトで  
ご覧ください。

私はこの4年間、「前例がないなら作ればいい」と言うことで「できない」を「できる」に変えてきました。石川県には、大きな可能性があります。私、はせ浩はこれからも現場主義を貫き、幸福度日本一の実現を目指し、石川県のさらなる成長に挑む覚悟です。どうか、私に力を貸してください。

## 能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興

- 復興公営住宅家賃を県が全額負担(入居後3年間)

### 《石川県成長戦略》

#### 子育て・医療・福祉・教育

- 子どもの医療費助成制度を就学前から小6まで拡大(市町の子育て・教育施策を充実)

#### 能登・金沢・加賀の交流基盤整備

- のと里山海道(徳田大津IC～のと里山空港IC)の国による4車線化
- 西部緑地公園再整備 ●兼六園県有地化構想
- 小松空港ターミナルビル建替(行政庁舎併設)
- 国道360号(小松～鳥越間)の整備着手

